

8	歴史発見!!「なるほどおり」 - 宇都宮の新しい顔をめざして -	提案団体名	
		代表者氏名	所 属
		宇都宮大学 中村祐司研究室	
		磯谷 萌	宇都宮大学 国際学部
		指導教官 氏 名	中村 祐司

1 問題意識

(1) 宇都宮市の中心市街地

宇都宮市の中心市街地と聞いて多くの人が一番に思い当たるのは、オリオン通りやユニオン通り(以下、中心商店街)といった商店街であろう。以前ほどの活気はなくなってしまったのが事実ではあるが、現在でも北関東有数の商業集積を誇っている宇都宮市において、中心的な役割を担っていることは確かである。しかし裏を返してみると、宇都宮市には商業機能しか魅力がないということをはき彫りにしてはいないだろうか。

そのような現状の中で現在、中心商店街から程近いところに宇都宮城の一部の復元工事と、それに伴う城址公園の整備がなされ、平成18年度中には完成予定である。これらは市のシンボルとして中心市街地活性化の役割を背負っているが、その周辺地区は宇都宮城復元に際して色めき立っているという印象は皆無である。また、歴史軸として位置づけられているバンバ通り、みはし通り、本丸通りは、中心商店街付近に立地する二荒山神社と城址公園とを直線でつないでいるが、歴史の趣が感じられる通りとは言いがたい。二荒山神社の下之宮や琴平神社、御橋などの歴史的な資源が点在しているにもかかわらず、実際は見落としてしまうほど存在感がない。1600年もの時代を生き抜いてきた二荒山神社がビルとビルの中に挟まれているという現状からも分かるように、宇都宮市の歴史は街に埋もれ切ってしまうのである。将来的に宇都宮城そのものが復元されることになっても、このままでは十分にその魅力を生かせないのではないだろうか。そのために必要なのは、中心市街地に歴史という新しい顔を加えることではないかという意識から、城址公園へと延びる歴史軸のあるべき姿について検討していきたい。



宇都宮市観光コンベンション協会 HP より

(2) 目標とする歴史軸の姿

<http://www.utsunomiya-cvb.org/>

新しい顔を作るという今回の提案において、目標とする歴史軸の姿は、歴史資源を存分に生かし歩くだけで歴史を感じることができる通り、すなわち歴史の香り立つ通りと定義する。

そこで、歴史軸が担う役割は2つある。まず1つは、現在埋もれてしまっている宇都宮市の歴史に再び光をあてることである。次に、復元される宇都宮城と城址公園の存在感を十分にアピールすることで、人々の足が自然と城址公園まで伸びるようにすることである。これらは、二荒山神社と城址公園をつなぐこの歴史軸でしかなし得ない役割である。それには通りの安全性の確保、美しい景観の創出、3つの通りにおける統一感の醸成が必須事項であり、重点課題と言える。

これらを満たす通りの実現により、歴史という要素を全面に押し出した通りを中心市街地に整備し、街に新たな顔を作り出すこと、そしてそこが地域の人にとって、郷土の歴史や文化を感じられるもの、さらには郷土愛を生み出すものとなり、他の地域の人にとっては宇都宮市の歴史が分かる、市の顔としての役割を果たすものとなるを考える。

2 提案

- (1) 「なるほどおり(みはし通り)」の整備
- (2) 歴史資料の展示
- (3) 空き店舗・空き地の活用
- (4) 歴史発見スタンプラリーの実施